

## 豪イクシスPJ向けLNG船、「パシフィック・ブリーズ」と命名

Edited By LogisticsToday On 2017/09/01

川崎汽船は1日、オーストラリアのイクシスLNGプロジェクト向け新造LNG船の命名式が川崎重工業坂出工場で行われ、「太平洋を渡るそよかぜ」の意味が込められた「PACIFIC BREEZE」（パシフィック・ブリーズ）」と命名されたと発表した。



同プロジェクトのオペレーターである国際石油開発帝石の子会社と仏トタルの共同出資会社「ITマリントランスポート」が川崎汽船傘下の「パシフィック・ブリーズLNGトランスポート」と結んだ定期用船契約に投入される。

主に液化基地のダーウィン基地から同プロジェクトがLNG売買契約を締結している台湾中油（CPCコーポレーション台湾）に向けたLNG輸送に従事する。

パシフィック・ブリーズは、川崎重工が開発した世界最大級のモス型LNG船で、モス型LNG船としては世界で初めてTFDエンジンを採用。優れた燃費性能で環境保全に配慮した輸送が可能。

### ■主要目

船主：Pacific Breeze LNG Transport S.A.

用船者：IT Marine Transport Pte. Ltd.

建造造船所：川崎重工業坂出工場

全長：289.3m

型幅：52m

タンク形式・タンク容積：モス型18万2000立方メートル

推進機関：TFD (Tri-FuelDiesel) 電気推進機関

---

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/298608>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.